

科 目 名	担 当 者		担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
KC3M1T05 ピアノⅤ（弾き歌いを含む）	木村 博子・田中 幸子・塩津 貴子		クラス分け	1 単位	こども学科 3年次	前期	必修			選択必修	B D E F
授業のテーマ及び到達目標		授 業 計 画									
子どもの感性を伸ばす音楽を探索する。 保育の現場に合う童謡の伴奏と弾き歌いの力をつける。 右手旋律・左手コードまたはベース奏、両手コード伴奏、その場に合う編曲ができるようになる。 8、9月の保育実習、幼稚園教育実習へ向けての実習判定曲を全て暗譜で自由に弾けるようになる。	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修			
	1	オリエンテーション ハ長調のコードの復習 園生活の歌	シラバスを読む付点リズムに気をつけ元気な音で弾く	レッスンカードの活用、実習判定までの計画を立てる	9	二長調のコード・転回形 夏の歌	課題曲に動きをつけると仮定して弾み方を研究する	移調奏、先読み、弾き歌いの練習			
	2	旋律と伴奏コードのバランス 園生活の歌	園児に旋律を指導する想定でバランスを意識して練習	「旋律の冴えた音、左5指は支え」を身につける	10	付点リズムと三連符 快活な童謡	5番までの歌詞を覚え、へ長調のコードを復習する	ト長調、へ長調 両方自由に演奏できるようにする			
	3	弾き歌いの基本 園生活の歌	歌詞を暗譜してくる	明るく元気な音色のために必要な指の基礎訓練を考える	11	付点四分音符と付点八分音符 園生活の歌	コードとアルペルティバス両方の復習をしておく	音楽的に正しい付点リズムを自由に使えるようにする			
	4	実習判定① 園生活の歌	完全に暗譜し、元気づよく弾き歌いする練習をする	左手と歌、右手旋律を弾きながら歌い、バランスをとる	12	実習判定③ 軽快な付点リズムの歌	「さんはい」直後からしっかり歌い始める練習をする	振り向き、笑顔に完全に慣れる練習を積む			
授業の概要											
実習時を想定し、暗譜・笑顔・振り向きながら、目の前の幼児に語りかけるピアノ伴奏および弾き歌いのための個人レッスンをを行い、実習判定に臨む。 実習時期に合わせて、季節、生活、行事の歌を課題曲として判定を行う。	5	前奏の効果 二長調の童謡	「さんはい」に合わせやすい前奏の終わりを研究する	緊張に耐え、完璧な暗譜演奏に至る練習量・質の探求	13	初秋の風情を歌う 現場で必須の歌	3番までの歌詞を完全に暗譜する	風景を思い浮かべ絵を描けるような表現の工夫			
	6	情緒豊かな歌詞を活かす 日本の童謡	歌詞を読み込み、フレーズを大切に歌う練習をしてくる	ピアノでも弾き歌いでも抒情性が伝わる演奏の探求	14	元気な発声をめざす 行事の歌	同じ行事の別の曲を調べる明るく歌う	伴奏を自由に使えるようにし、難度の高い版も練習			
	7	ペダルの効果的使用法 登場回数が多い園生活の歌	誰でも口ずさめる曲を音楽的に正しく理解する	伴奏の完成後は様々なtempoや表現で練習する	15	レパートリーの仕上げ まとめ	実習判定基準に沿って課題曲の表現方法を整理し暗譜	こどもの動きや感情に寄り添った表現を探索する			
	8	実習判定② 年間通してよく歌われる歌	教科書を基に曲や自分に合う伴奏型を考え練習する	曲調に合う強弱を用い、曲に合う表現を身につける							
教科書・テキスト等	改訂ポケットいっばいのうた実践子どものうた（鈴木恵津子他 教育芸術社）、こどものうた200（小林美実編 チャイルド社）、続・こどものうた200（小林美実編 チャイルド社）			成績 評価 基準	評価方法		割合（％）	評価のポイント			
参考書・参考資料等	日本童謡200選（日本童謡協会編 音楽之友社）、音楽リズム・幼児の歌（小林美実編 東京書籍）				ピアノ・弾き歌い実技試験 平常点（態度・行動観察）		80% 20%	かけ声・振り向き・音程・音楽性 毎回のレッスン状況、取り組みの姿勢			

科 目 名	担 当 者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
KC3M1T06 ピアノⅥ（弾き歌いを含む）	木村 博子・田中 幸子・塩津 貴子	クラス分け	1 単位	こども学科 3年次	後期	必修			選択必修	B D E F
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
ピアノⅤまでに培った力を活かし、 保育現場で提供するに相応しい、更に 深い音楽を求めていく。 童謡の音楽性、保育の現場に相応し い伴奏の編曲、コード伴奏を確実な ものにし、課題は全て暗譜する。 歌詞の読み取り、意味を考えた譜読 み、自分に合った編曲など、自分で 切り拓いていく力をつけることを目 標とする。	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
	1	オリエンテーション 実習の振り返り	実習中の曲を弾き 歌いし、音楽活動 について纏める	レッスンカード に振り返りと今 後の目標を書き 込む	9	へ長調のベース伴奏と分散和音 冬の歌・行事	へ長調コードの復 習をし、楽譜にな い前奏を考える	強弱記号がない 曲の緊張の解決 を楽譜から読み 取る		
	2	拍感と強弱 秋の歌	動作を伴う元気よ い曲と抒情的な曲 との違いを練習す る	オペレッタの演 出を想定し、応 用法を考える	10	スタッカートと擬音語 季節の歌・冬	歌詞読みをし曲に 合うスタッカートの 奏法を研究する	二長調をへ長調 に移調し、楽譜 にも書けるよう にする		
	3	へ長調の復習 活気溢れる曲と情緒溢れる童謡	ベース伴奏を拍に 乗せる練習	親子愛に満ちた 音色とタッチを 研究し身につけ る	11	へ長調の復習 行事の歌	解離型コードに慣 れへ長調の音階と カデンツを練習す る	オリジナルの前 奏を身につけ、 使えるようにす る		
	4	変ロ長調のコード 運指を考える	ベース伴奏で右手 の旋律を歌が聞こ えるように奏する	両手伴奏で弾き 歌いの練習をす る	12	実習判定② 冬から春への歌	曲調に沿った表現 で完全に暗譜する	一緒に歌いたく なる伴奏とは何 かを探索する		
授業の概要										
現場で役立つ、子どもに合う編曲、 移調、コード伴奏、両手伴奏等、 様々な形に慣れて使えるようになる ための徹底した個人レッスンを積ん でいく。 冬、早春の課題曲で実習判定を行 う。	5	実習判定① 季節の歌と日本の童謡	フレーズと音価を 含めてきちんと暗 譜する	判定で演奏しな かった課題曲を 復習し完全なも のにする	13	変ホ長調のコード 早春の歌	調号の確認、左手 の主要三和音を練 習しておく	黒鍵を視指、5指 で弾くことに慣 れる		
	6	ピアノ曲に取り組む クラシックの小品	取り上げる曲の調 のスケールとアル ペジオの練習をす る	曲から訓練すべ き音型を探し効 率的な練習法を 考える	14	へ長調とへ長調の復習 表現が難しい曲	音楽の呼応に情感 を込める	簡易伴奏のベー スの選び方と奏 法に工夫を凝ら す		
	7	ピアノ曲のレッスン 練習の密度を受講のしかたを学ぶ	作曲者、曲の背 景、作品番号、原 典版について調べ る	楽語の意味や表 記のしかた、深 読みして表現法 を探索	15	ピアノⅥの振り返り まとめ	2/4、3/4、6/8拍 子の復習をする	日本語の美しさ を感じ、伝える ための技量を備 える		
	8	ピアノ曲の仕上げ 成果発表	楽譜に自分の注意 事項を書き込み、 視奏か暗譜か決め る	楽語の意味や表 記のしかた、深 読みして表現法 を探索						
教科書・テキスト等	改訂ポケットいっばいのうた実践子どものうた（鈴木恵津子他 教育芸術社）、こどものうた200（小林美実編 チャイルド社）、続・ こどものうた200（小林美実編 チャイルド社）			成 績 評 価 基 準	評価方法	割合（%）	評価のポイント			
参考書・参考資料等	日本童謡２００選（日本童謡協会編 音楽之友社）、音楽リズム・ 幼児の歌（小林美実編 東京書籍）				ピアノノ・弾き歌い実技試験 平常点（態度・行動観察）	80% 20%	かけ声・振り向き・音程・音楽性 毎回のレッスン状況、取り組みの姿勢			

科 目 名	担 当 者	担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
KC3M2T07 ピアノⅦ（弾き歌いを含む）	木村 博子・田中 幸子	クラス分け	1 単位	こども学科 4 年次	前期	選択必修			選択必修	B D E F
授業のテーマ及び到達目標	授 業 計 画									
子どもの言葉の発達を促し、豊かな心や優しさを育む一翼を担う童謡を、音楽的に深く理解し、こどもの心に寄り添う伴奏で指導できるようにする。 保育現場に合う童謡の伴奏と弾き歌いの力をつけて実習に臨む。 童謡の移調奏やアレンジ、両手伴奏など与えられた課題ができるようになる。	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修		
	1	オリエンテーション 基本の復習	ハ・ヘ・ト・二長調のコード、カデンツを練習する	各同主調でも弾く実習判定の練習計画を立てる	9	分散和音を拍子にのせる重くならない左手	1 拍め＝強拍だが叩いた音にならないようつかんで弾く	4 小節を一区切として楽譜を読み取る習慣を身につける		
	2	旋律と伴奏のバランス 園生活の歌	左手伴奏の音数・厚みによりバランスを変える	判定判定課題を自己の効率よい練習順序に整理する	10	躍動感、印象に残る特徴的な歌 秋の自然の歌	両手伴奏で弾き歌いができるようにする	歌として表現するたの基礎練習の何が活かせるか考察		
	3	音色と指先 細かい練習によって鍛えられる感覚	歌詞やフレーズを考えて暗譜し音色。音量に反映させる	明るい音色に必要な指先のコントロールを訓練する	11	情景を伝える 風情ある秋の歌	音価を大切にし、呼吸を伴って歌を正しく覚える	旋律と歌、左手と歌を別々に練習にて音楽観を得る		
	4	弾き歌いを上達させる 部分練習とソルフェージュ	歌っても影響がないピアノの安定感を求めた練習	右手旋律を弾きながら歌い、バランスを整える	12	実習判定② 夏から秋の歌	練習、振り向きに完全に慣れる工夫を積んで判定に臨む	右手を少し抑えて歌とのバランスをとる習慣をつける		
授業の概要										
実習時を想定した「暗譜・笑顔・かけ声・振り向き」を完全に身につける。 目の前のこどもに語りかけるピアノ伴奏および弾き歌いのための個人レッスンをを行う。 実習時期に合わせ、季節、生活、行事の歌を課題曲として判定を行う。	5	実習判定① 夏の歌・園生活の歌	入り易いさんハイ、顔を上げ一緒に歌う先生像をめざす	両手伴奏+歌に慣れるためソルフェージュ力を付ける	13	移調奏とアレンジ ハ・二・ヘ・ト長調	ハ長調と二長調のコードを演奏と記譜で復習する	主要三和音のカデンツを自由に弾けるようにする		
	6	リズムカルな童謡・唱歌 刻みと付点リズム	明るい音色のタッチ、軽快な付点リズムを身につける	指先で鍵盤を捉えるるスタカート奏法を研究する	14	移調奏とアレンジ 長調と短調	長調と短調の響きの変化を聴き取り、表現に繋げる	響きの明暗、強弱など変化に注目する習慣をつける		
	7	拍感をしっかり意識する よく歌われる歌	頭の中で指揮をして拍子を感じ一貫性をもって練習する	正しい拍子・リズム・音程で歌う訓練を習慣づける	15	実習に向けて まとめ	課題曲の完成度を上げ、明るく歌えるようにする	響きの明暗、強弱など変化に注目する習慣をつける		
	8	ヘ長調と変ホ長調 夏の歌	変ホ長調について調べる（音楽理論的復習）	ヘ長調簡易版でも前奏は原曲の形を用いる等工夫する						
教科書・テキスト等	改訂ポケットいっばいのうた実践子どものうた（鈴木恵津子他 教育芸術社）、こどものうた200（小林美実編 チャイルド社）、こどものうた200（小林美実編 チャイルド社）			成績評価基準	評価方法	割合（%）	評価のポイント			
参考書・参考資料等	日本童謡200選（日本童謡協会編 音楽之友社）、音楽リズム・幼児の歌（小林美実編 東京書籍）				ピアノ・弾き歌い実技試験 平常点（態度・行動観察）	80% 20%	かけ声・笑顔・振り向き・音程・音楽性 毎回のレッスン状況、取り組みの姿勢			

科 目 名	担 当 者		担当形態	単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
KC3M2T08 ピアノⅦ（弾き歌いを含む）	木村 博子・田中 幸子・塩津 貴子		クラス分け	1 単位	こども学科 4 年次	後期	選択必修			選択必修	B D E F
授業のテーマ及び到達目標		授 業 計 画									
保育現場で子どもに向き合い、寄り添う音楽の在り方を音楽大学で学ぶ意義と併せて、より深く探求する。 移調奏やアレンジ、コード伴奏、両手伴奏による弾き歌い等あらゆる形に対応できる。 確実に暗譜し、子どもの様子を見ながら弾き歌いする。	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修			
	1	オリエンテーション 実習の成果発表	実習時の音楽活動等についての発表準備	レッスンカードの活用を再認識し、目標を書き込む	9	移調奏とアレンジ 冬の歌・行事	ハ・二・へ・ト長調のコードを復習しておく	長2度上下行に慣れたら短2度上下行に挑戦する			
	2	コード伴奏とベース伴奏 秋の歌	楽譜にコードネームを書き入れて音楽理論の復習をする	手遊び歌を笑顔で指導する、伴奏する役割に分けてみる	10	スタカートとマルカート 季節の歌・冬	連打するコードの弾き方を復習する	近隣調に移調し、楽譜を書く復習をする			
	3	正しい音程の復習 ソルフェージュの基礎	4度上行、5度下行、8度上行の音程を正しく歌う	両手伴奏の時の歌に自信がもてるまで練習する	11	二長調の復習 早春の行事	左手だけ伴奏しながらバランスのよい声量で歌う	擬音語の歌い方、弾き方を研究し、楽しさを伝える			
	4	歌詞とフレーズ 表現を考えたソルフェージュ	音価と休符に注意しフレーズの終わりを考えて歌う	和声の機能による緊張と解決を理解し、歌に反映させる	12	成果発表③ 短い設定保育	園児への語りかけ、声のトーンも研究する	園児の顔を見ながら楽しく歌うところまで練習する			
	5	確実な暗譜 意識的暗譜と身体的暗譜	部分練習と片手練習をくり返すことの効果を実感する	技量と必要な練習量を知り頭と身体両面から暗譜する	13	アルベルティバスを滑らかに弾く 春の歌	左手の部分練習を行い、リズム変奏で指の訓練をする	既成の編曲を参考にして画一的な伴奏をアレンジする			
	6	成果発表① 弾き歌い、移調奏、ピアノ曲他	個人のベースと就職試験に合わせ、自由曲を用意する	演奏マナー、聴くときの態度ができていたか振り返る	14	4 年間の振り返り 卒業後に役立つ課題	就職先の園歌や未知の曲の楽譜を譜読みし予習する	教員の助言を参考に練習の仕方を考える			
	7	ピアノ曲 クラシック、アニメソングのピアノソロ他	作曲者、曲の背景を調べ、出版社・版も比較する	楽譜から曲の内容を読み取れていたか振り返る	15	試験課題曲	後期実技試験課題曲の予習と暗譜に取り組む	実技試験曲を仕上げ今後の課題の練習計画を立てる			
8	成果発表② ピアノ曲の仕上げ	曲について調べたことをメモし使いやすい楽譜を作る	音楽用語、記号をまとめ、大譜表の書き方を復習する								
教科書・テキスト等	改訂ポケットいっばいのうた実践子どものうた（鈴木恵津子他 教育芸術社）、こどものうた200（小林美実編 チャイルド社）、続・こどものうた200（小林美実編 チャイルド社）			成績評価基準	評価方法		割合（%）	評価のポイント			
参考書・参考資料等	日本童謡 2 0 選（日本童謡協会編 音楽之友社）、音楽リズム・幼児の歌（小林美実編 東京書籍）				ピアノ・弾き歌い実技試験 平常点（態度・行動観察）		80% 20%	かけ声・笑顔・振り向き・音程・音楽性 毎回のレッスン状況、取り組みの姿勢			

科 目 名	担 当 者			担当形態		単位数	対象学生	開講時期	卒業要件	教職課程	保育士	音楽療法	ディプロマポリシー
KC3M2T29 ハーモニーⅡ	木村 博子			単独		2 単位	こども学科 3年次	前期	選択必修			選択必修	C D E
授業のテーマ及び到達目標		授 業 計 画											
コードネームを見て伴奏が付けられるようになる。また、童謡曲やこどもの曲を様々な伴奏形で演奏し、移調もできるようになる	回	学修内容	事前学修	事後学修	回	学修内容	事前学修	事後学修					
	1	授業についての説明 機能と声やコードの確認テスト	ハーモニーⅠの復習	確認テストの振り返り	9	童謡・子どもの曲のコード伴奏と移調（二長調）	課題曲の旋律を弾く	課題曲を移調する					
	2	童謡・子どもの曲のコード伴奏と移調（ハ長調）	課題曲の旋律を弾く	課題曲を移調する	10	童謡・子どもの曲のコードを分析とアレンジ（二長調）	課題曲を弾いてコードを考える	授業でのアレンジを基に自分で考える					
	3	童謡・子どもの曲のコード分析とアレンジ（ハ長調）	課題曲を弾いてコードを考える	授業でのアレンジを基に自分で考える	11	童謡・子どもの曲のコード伴奏、移調（ハ長調、へ長調、ト長調、ニ長調以外の調）	自分で曲を選び旋律を弾く	課題曲を移調する					
	4	童謡・子どもの曲のコード伴奏と移調（へ長調）	課題曲の旋律を弾く	課題曲を移調する	12	童謡・子どもの曲のコードを分析とアレンジ（ハ長調、へ長調、ト長調、ニ長調以外の調）	自分で選んだ曲を弾いて、コードを考える	授業でのアレンジを基に自分で考える					
	授業の概要												
	5	ハーモニーⅠで学習したコードネームやキーボード・ハーモニーを発展させ、保育や幼児教育の現場で実践できる力をつける。童謡曲・こどもの曲のコードによる伴奏付けや移調、アレンジも行う。また、幼児の音楽表現活動ができるように簡単な即興演奏法も学ぶ	童謡・子どもの曲のコードを分析とアレンジ（へ長調）	課題曲の旋律を弾く	課題曲を移調する	13	アンサンブル	課題曲を聴く	自分のパートを練習する				
	6	童謡・子どもの曲のコード伴奏と移調（ト長調）	課題曲の旋律を弾く	課題曲を移調する	14	アンサンブル（いろいろな音色に変えて演奏）	音色を考える	自分以外のパートも練習してみる					
7	童謡・子どもの曲のコードを分析とアレンジ（ト長調）	課題曲を弾いてコードを考える	授業でのアレンジを基に自分で考える	15	まとめ	発表の準備	発表と授業で行ったすべての内容の振り返りをする						
8	確認テスト（課題曲のコード伴奏、移調、アレンジ）	これまでの復習	確認テストの振り返り										
教科書・テキスト等	配布プリント			成績 評価 基準	評価方法		割合（％）	評価のポイント					
					期末試験	60％	実技試験						
参考書・参考資料等					課題 / レポート		20％	課題への取り組み					
				平常点	20％	受講態度							